2024 年 7 月 13 日

課題名：敵対生成ネットワークを用いた障害陰影となりうる
単純 X 線画像上の異物の除去

◆研究の目的と概要◆
当院では、様々な場面で撮影される単純 X 線画像の画像処理に関して調べています。本研究では、画像を新たに生成する AI (Artificial Intelligence) を利用して、診断に有用な単純 X 線画像の提供を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

□対象となる患者さん□
2021 年 11 月から、2024 年 3 月までの間に、胸部および骨盤単純 X 線画像を撮影された方のうち，救急にてバックボード上で撮影された方および画像上に心電図のコードなどの異物の写りこみがない方を対象とします.

◆研究に使用される情報・試料◆
年齢、性別、画像データ：胸部および骨盤単純 X 線画像

◆情報の研究利用開始日◆
2023 年 10 月 1 日以降

◆研究方法◆
プログラミング言語 Python を用いて、画像を新たに生成する AI を構築し、異物の写り込んだ胸部および骨盤単純 X 線画像から異物を除去した単純 X 線画像を生成します。

＊ 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
放射線技術部　研究責任者　尾崎　誠
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明